



令和3年度第2回博・学連携研究委員会議を開催



2月18日（金）に今年度第2回目の博・学連携研究委員会議を開催しました。研究協議の内容は、次の3つでした。

- 1 今年度の取組状況の報告
- 2 博物館見学，出前授業の実施方法について
- 3 児童の調べ学習に対応したホームページ
- 4 来年度の博・学連携推進計画について

紙面の関係上1と4の内容，その他いただいた意見についてだけ簡潔に紹介します。

1について

- (1) 博物館職員による学校訪問を実施 令和3年4月9，12，13，14日の4日間で市内の小中学校を回って，令和3年度の博物館の行事等を説明しました。次のようなお話をいただきました。
 - ・出前授業を活用したい。
 - ・年度初めの説明で，計画を立てる際の参考になり，ありがたい。
 - ・オンラインでの活用も図りたい。
- (2) 博・学連携推進研修会 令和3年6月1日（火）に開催 市内小中学校悉皆参加
- (3) 先進施設視察研修 令和3年11月12日（金）
 - ・視察先：遠野市立博物館，北上市立博物館
 - ・展示解説の工夫や教育課程に合わせた展示の改善について説明があり，とても参考になりました。この研修会の後日，家族を連れて再度見学に行った研究委員もいらっしゃったということでした。
- (4) 市内小中学校の見学
 - ・中学校2回（1校が2回）・小学校6校
- (5) 出前授業，オンライン授業
 - 「縄文時代の暮らし」出前 小学校2校（6年生）
 - 「戦争と花巻」出前 中学校1校（3年生），小学校3校（6年生）
 - 「多田等観」出前 小学校1校（6年生）
 - 「昔の道具と暮らし」出前 小学校6校，オンライン授業 小学校3校
すべて3年生
 - 「東北地方の災害」オンライン授業 小学校1校（5年生）

(6) 教育資料の貸出しと制作

- ・小学校1校から「縄文土器片セット」の利用申し込みがありました。
- ・花巻人形カード Vol.1 「遊んで覚える花巻人形」を1校に配布
- ・花巻人形カード Vol.2 「動物のかわいい人形たち」を制作。今後市内の学校に希望をきいて、配付予定。

(7) 職場体験 なし

(8) 博・学連携だより「ふくろう」は月1回発行し、博物館の展示や市内小中学校の博物館利用の様子を紹介しました。

(9) ギャラリートーク（展示室内での学芸員による解説）への市内小中学校教職員の招待

- ・「美を競う 肉筆浮世絵の世界」 参加希望者1名
- ・「鉄道と花巻—近代のクロスロード」 参加希望者1名
- ・「ぐるっと花巻・再発見！多田等観」 参加希望者1名

(10) GIGA スクールに博物館がどのように支援できるかを研究し、実践していく。

- ・Zoomを使って市内小中学校とオンライン授業を実施。

4について（令和4年度の会議、研修会の開催予定日）

(1) 博・学連携研究委員会会議 第1回：令和4年5月31日（火）

第2回：令和5年2月20日（月）

(2) 博・学連携推進研修会 令和4年5月31日（第1回博・学連携研究委員会会議後に実施）

(3) 博・学連携先進施設視察研修 令和4年11月11日（金）

その他

- ・博・学連携だより「ふくろう」を学校サイボウズで流したほうがよい。カラーだと見栄えがよく、興味を掻き立て、授業にどうつなげるか考えるヒントになる。
- ・博物館のホームページに調べ学習用の資料等を掲載するよりも、学校サイボウズの中で、先生方が資料を使えるようにしたほうがよい。

1月から2月にかけての博物館利用の紹介（オンライン編）

「花巻の歴史」、「東北地方の災害」

2月14日 東和小学5年生

（児童の感想）東北で起きた東日本大震災では、ぎせい者が1万9,689名もいることを知り、とても多くて悲しいと感じました。

東北での冷害・ききんでは、人の肉を食べながら生きなければいけなかった。夏も温かい服そうで過ごしていた。

昔のお米は、寒さに弱かったため食料があまりなかった。でも今は、品種改良をしているため寒さに強い。

東北で起こった災害でも、あまり私が知らないことが多かったので、もっといろんなことを知って、私にできることをしていきたいです。



学芸室で授業をしているところ

「昔の道具とくらし」（3校すべて3年生）

2月15日 南城小学校



道具の名前を映しているところ

2月16日 東和小学校



画面の中に東和小の児童が映っています

2月25日 太田小学校



何に使う道具か問題を出しています